

コフタバラン *Neottia cordata* (L.) Rich.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 12。温帯性のラン科植物で、愛知県では生育地も個体数も少ない。

【形態】

多年生草本。地下茎は細く長くはう。地上茎は細く、直立し、高さ 10~20cm になる。葉は茎の中部に 2 枚が対生し、葉身は 3 角状広卵形、長さ幅ともに 1~2cm、先端は鋭頭、基部は広くさび形~切形である。花期は 6~8 月、花は茎の上部に 4~10 個つき、小さく緑黄色、苞は 3 角状卵形で開出し、長さ約 1mm である。がく片は長楕円形、長さ 2~3mm、先端は鈍頭、側花弁はがく片とほぼ同長である。唇弁は平開し、くさび形、長さ 3~4mm、基部に小裂片があり、先端は 2 深裂して広く開き、裂片は線形で鋭頭である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (小林 37470, 1992-5-31)、6 設楽西部 (小林 37179, 1992-5-17)。西：20 足助 (山崎玲子 2188, 2000-6-20)。

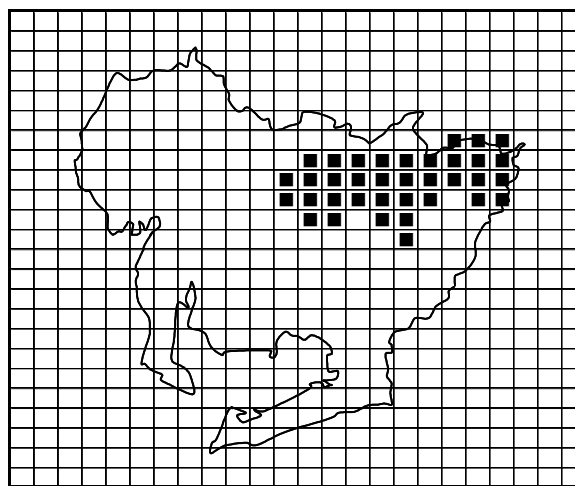
【国内の分布】

北海道、本州 (中北部)、四国、九州。

【世界の分布】

千島列島、サハリン、日本。種としてはユーラシア大陸北部に広く分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の、主として針葉樹林内に生育する。愛知県の場合は、落葉広葉樹林内にも生育している。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

3 区画の各 1 カ所に小群落があるだけである。小型の植物なので、個体数階級が 3 でも実際の量は僅かである。

【保全上の留意点】

生育地の森林を保全することが必要である。

【特記事項】

単にフタバランと呼ばれることもある。

【関連文献】

保草本Ⅲp.36, 平草本 I p.209, 平新版 1 p.215, SOS 旧版 p.113.